

令和5年度取組結果及び令和6年度取組計画

雄物川水系

・秋田市	1
・横手市	6
・湯沢市	10
・大仙市	14
・仙北市	18
・美郷町	21
・羽後町	23
・東成瀬村	25
・東北農政局	27
・秋田地方气象台	29
・東日本旅客鉄道(株)	32
・東北電力(株)	34
・秋田県	36
・東北地方整備局	50

馬場目川水系	56
--------	----

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

⇒普通河川古川流域において、排水機場整備を実施（令和7年度完成予定）



古川排水機場 整備イメージ図

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
⇒町内会等からの依頼による防災訓練
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
⇒市内小中学校からの依頼による防災講話
- ・要配慮者利用施設における避難計画の作成及び訓練の促進
⇒要配慮利用施設への避難確保計画の作成支援



市内中学校における防災講話

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
⇒町内会、自主防災組織等に対しマイタイムライン作成の周知・啓発
- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シュミレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒内水浸水想定区域図（仁井田、御野場、大住、牛島地区の一部および中通、南通、楢山、千秋地区の一部）を秋田市ホームページで公表
- ・適切な土地利用の促進
⇒災害危険区域の指定（雄和地区の一部：R4.9.1指定）
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒防災FMラジオを自主防災組織等へ貸与
⇒秋田市の防災情報をFM秋田「秋田市防災Navi」により放送
⇒防災ネットあきたによる災害情報の提供（電話、FAXでも提供）
⇒ホームページ、ツイッターで災害情報の提供
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまちごとまちごとハザードマップの推進
⇒想定最大規模の浸水想定によるハザードマップおよび水害対策ガイドブックの配布



内水浸水想定区域図

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連携体制の再確認の実施
 - ⇒水防訓練（R5. 6. 4開催予定で準備したが天候により当日中止）
 - ⇒災害対策用排水ポンプ車による排水訓練
（R5. 5. 23、R5. 5. 24、R5. 10. 27）
- ・ 重要水防箇所への合同巡視
 - ⇒雄物川合同巡視（R5. 6. 22）
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒適切に在庫管理



災害対策用排水ポンプ車による排水訓練

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 古川流域の排水機場の整備（継続2年目）

■ソフト対策【動かす】①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施・タイムラインの検証及び改訂・他機関連携型タイムラインの拡充
⇒ 各種防災訓練の実施
- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
⇒ 町内会・自主防災組織等の避難訓練の実施、自主防災リーダー研修会の実施
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
⇒ 学校関係者を対象にした防災教育の実施
- ・要配慮者利用施設における避難計画の作成及び訓練の促進
⇒ 要配慮者利用施設への避難確保計画の作成支援



マイタイムライン作成の啓発



自主防災リーダー研修会

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
 - ⇒ マイタイムラインの自主防災組織等への周知・啓発
- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シュミレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
 - ⇒ 内水浸水想定区域図の公表
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ ラジオ等による秋田市防災情報の継続的な発信
 - ⇒ 防災ネットあきたへの登録推進



水防訓練

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連携体制の再確認の実施
 - ⇒ 水防訓練
 - ⇒ 災害対策用排水ポンプ車による排水訓練
- ・重要水防箇所での合同巡視
 - ⇒ 関係機関等とのパトロールの実施
- ・水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 必要資材の拡充



ポンプ車による排水訓練

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

⇒ **防災ラジオ難聴対策**の実施（継続）

◇難視聴地域における個別アンテナの設置（地域防災拠点施設への設置）



防災ラジオ個別屋外アンテナ設置状況

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・各種訓練・講習会の実施

⇒ 6月3日（土）**「水防講習会」**を実施（分散開催）

◇感染症対策に配慮し、8支団が5カ所の消防署、各消防分署に分散し、基本結索、土嚢作成、改良積土嚢工法、応急シート張り工法を実施

⇒ 6月4日（日）**「土砂災害訓練」**を実施（大森町八沢木地区）

◇地域住民、地元消防団など85名が参加
秋田県、警察、消防が連携

⇒ 8月27日（日）水害を想定した**「総合防災訓練」**を実施（十文字地区）

◇地域住民、要配慮者利用施設、防災士、民生児童委員など269名が参加
秋田県防災ヘリ、応援協定事業所（佐川急便）、警察、消防、火災予防組合が連携

◇**「ファーストミッションボックス」**の運用訓練

避難所に避難した住民が、自分たちで避難所を開設するための手順書により、避難所開設の段取りを確認

水防講習会(6/3)



土砂災害訓練(6/4)



横手市総合防災訓練(8/27)

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す**情報伝達手段の多重化**（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災行政無線、防災ラジオ、安全安心メール、エリアメール、

横手市公式LINE・X・フェイスブック、よこてれび(デジタルサイネージ)の活用

◇安全安心メール（登録制）情報の市ホームページへの自動転送

◇安全安心メール情報の市民向け情報アプリ（MINEBA）でのプッシュ通知

- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知

⇒ 県管理河川：**上溝川洪水ハザードマップの新規作成**（令和5年10月）

⇒ ハザードマップの周知普及

防災講話の開催（27回399人参加）

ラジオ番組:1回、**市報特集ページ**:1回、**ホームページ**での公開

Web版ハザードマップ作成・公開

◇携帯端末の位置情報から現在地の災害危険箇所や、キキクル、避難所開設情報、交通規制情報をリアルタイムで確認可能



防災講話(小学校での防災勉強会)



Web版ハザードマップ



重要水防箇所合同巡視

■ソフト対策【ねばる】^{②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化}

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・**重要水防箇所の合同巡視**の実施

⇒ 5月26日（金）湯沢河川国道事務所、横手市、横手市消防本部、各消防支団参加

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 横手市業務継続計画（BCP）の改定と運用（継続）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い地域における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ **横手市土砂災害訓練**を実施（継続）

◇市、県、警察、消防、消防団が連携し、大雨に伴う土砂災害を想定し、対象地域住民の避難行動を含む実践的な総合訓練を実施

⇒ **横手市総合防災訓練【夏季・冬季】**を実施予定（継続）

◇関係機関、災害時応援協定締結事業所との連携を予定

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 市内小中学校における**防災講話**の実施（継続）

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ **避難確保計画のバージョンアップと避難訓練**の実施促進（継続）

◇チェックリストによる計画の見直しと避難訓練実施の促進

雄物川浸水エリア 計画作成:39施設（100%）、訓練実施:28施設（72%）

横手川浸水エリア 計画作成:63施設（100%）、訓練実施:43施設（68%）



土砂災害訓練



冬季総合防災訓練



要配慮者利用施設における洪水時避難訓練

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ ウェブサイトを活用した**新たなハザードマップの周知**（継続）

◇ 携帯端末の位置情報から所在地の災害危険個所の確認可能

◇ 避難所開設情報や通行止め情報をリアルタイムで掲載可能

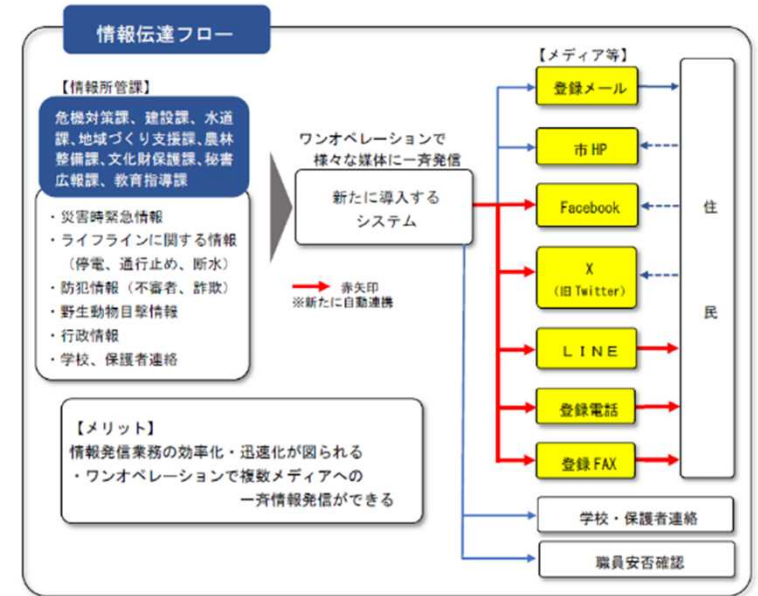
⇒ **新情報発信ツールの導入（新規）**

◇ 災害時緊急情報、防犯情報等を各種媒体への一斉同時発信により、迅速・正確な情報発信を可能にする

⇒ **避難所受付システムの導入（新規）**

◇ 住宅地図上に防災情報を重ねるとともに、マイナンバーカードや運転免許証を利用し、受付の迅速化と共有化を図り、住宅地図上で避難状況を可視化する

新情報発信ツール機能イメージ



■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ 横手市消防団における**支団単位での水防講習会の開催**（継続）

◇ 基本結索、土嚢作成、改良積土嚢工法、応急シート張り工法

・**重要水防箇所の合同巡視**（継続）

⇒ 国管理河川：湯沢河川国道事務所、横手市、横手市消防本部、各消防支団参加

⇒ 県管理河川：平鹿地域振興局、横手市、横手市消防本部参加



水防講習会



重要水防箇所の合同巡視

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 湯沢市業務継続計画（BCP）の見直し・修正を予定

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・自主防災組織の設置、指導及び育成に係る研修会の実施

⇒重点事業として継続して推進

⇒県主催による「自主防災組織育成指導者研修会」を湯沢市で実施

⇒自主防災組織の設立に向けた町内会等との意見交換会を開催（各地区計10回）

・地域の防災力向上に向けた施策の実施

⇒湯沢市防災士の会における研修会の開催等による地域防災リーダーの育成

⇒地区防災計画の策定支援

※自主防災組織を設立した町内に対する地区防災計画の策定に向けた講座を開催

・リアリティのある防災訓練の実施

⇒雄物川危機管理演習への参加（令和5年11月17日実施）

⇒大規模災害を想定した図上訓練の実施（令和6年2月2日実施予定）

⇒湯沢市雄勝郡総合防災訓練の実施（令和5年10月26日実施）

※防災関係機関（市・消防・警察・自衛隊・東北電力・NTT等）及び要配慮者利用施設、住民、小・中学生参加による実践的な訓練を実施

・水害リスクの高い区間における避難訓練の実施

⇒雄勝地域において湯沢市水害避難訓練の実施（令和5年5月25日実施）

・水害リスクを共有するための防災教育の実施

⇒水害リスクの高い地域への出前講座を実施

・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の促進

⇒避難確保計画の実効性をより高めるための計画修正等の支援を継続して実施



自主防災組織育成指導者研修会
 （秋田地方気象台主催による気象防災ワークショップ）



湯沢市雄勝郡総合防災訓練
 （車両転落事故救助訓練 於：前森公園）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
⇒出前講座や学校授業等の場を活用した、マイ・タイムライン作成講習の開催
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の整備
⇒防災行政無線の効果的な運用
⇒自主防災組織の代表宅に対する防災行政無線戸別受信機の設置（継続）
⇒秋田朝日放送のデータ放送を利用した「湯沢市テレビ回覧版」による各種情報発信（令和4年12月1日運用開始）
⇒緊急・防災メール、防災行政無線専用LINEの登録促進、SNS等による情報発信の充実
- ・想定最大規模の洪水における避難計画を考慮した防災マップの周知・活用
⇒湯沢市地区版防災マップの周知徹底・防災講座等を通じた教育の実施



防災・減災についての
出前講座
(院内地域)



学校授業等の場を活用
したマイ・タイムライ
ン作成講習
(湯沢西小学校)

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団相互の連絡体制の再確認の実施
⇒令和5年6月4日(日) 湯沢雄勝地区水防講習会を実施
※積み土のう工法・シート張り工法・ロープワーク・安全管理を実施
⇒全水防団員（消防団員）へ装備品として「救命胴衣」を購入
(R4~R9継続実施)
- ・重要水防箇所の合同巡視
⇒5月19日(金) 重要水防箇所合同巡視
⇒6月14日(水) 雄勝地域県管理河川重要水防箇所合同巡視



「湯沢市テレビ回覧版」による各種情報発信

■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策 (耐水化・BCP等ソフト対策を含む)

⇒湯沢市業務継続計画 (BCP) の運用

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・自主防災組織の設置、指導及び育成に係る研修会の実施

⇒重点事業として継続して推進

・地域の防災力向上に向けた施策の実施

⇒湯沢市防災士の会における研修会の実施

(地域の防災訓練への参加等実践型の研修を実施予定)

⇒地区防災計画の策定推進

⇒自主防災組織の訓練支援

・リアリティのある防災訓練の実施

⇒土砂災害訓練の実施 (6月実施予定)

・水害リスクの高い区間における避難訓練の実施

⇒湯沢市水害避難訓練の実施 (5月頃実施予定)

・水害リスクを共有するための防災教育の実施

⇒出前講座等による防災講話を継続して実施

・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の促進

⇒他部局と連携し、避難確保計画・避難訓練の実効性をより高めるための支援を継続実施



令和5年度湯沢市雄勝郡総合防災訓練
防災士による段ボールベッドの組立

令和5年度湯沢市水害避難訓練



避難場所への
避難訓練



住民向け
防災講座

出前講座「防災・減災講座」



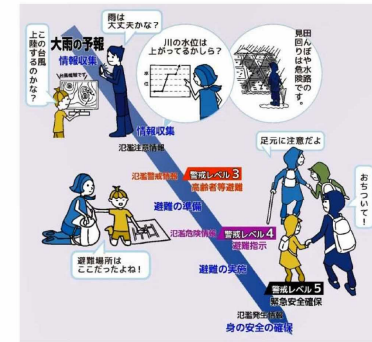
雄勝地域
院内地区

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用及びマイ・タイムラインの作成
 ⇨市民への周知徹底とタイムラインの見直し（継続実施）
 ⇨出前講座等の場を活用したマイ・タイムライン講習会による作成支援
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充
 ⇨防災行政無線とスマートフォンの連携や施設等に対する戸別受信機の配布等、
 更なる効果的な運用の調査・検討
- ・想定最大規模の洪水における避難計画を考慮した防災マップの周知・活用
 ⇨湯沢市地区版防災マップの周知徹底・防災講座等を通じた教育の実施（継続実施）

マイ・タイムライン講座 ～自分・家族の防災計画を作ろう！～



■ソフト対策【ねばる】^{②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化}

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 ⇨継続して連携
- ・市・消防・消防団による水防能力向上及び連絡体制の確認の実施
 ⇨湯沢雄勝地区水防講習会の実施（5月頃実施予定）
- ・重要水防箇所の点検
 ⇨5月頃 重要水防箇所合同巡視
 6月頃 雄勝地域県管理河川重要水防箇所合同巡視
- ・水防資機材の保有状況の確認
 ⇨全水防団員（消防団員）への救命胴衣購入（R4～R9継続実施）



重要水防箇所合同巡視

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

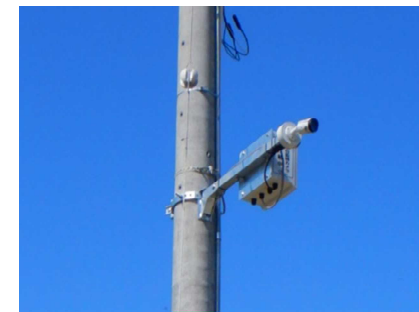
- ⇒可搬式排水ポンプ 8 インチ 18 台の購入（令和6年3月末納品予定）
- ⇒可搬式排水ポンプ 6 インチ 4 台の購入（令和6年3月末納品予定）
- ⇒排水ポンプ車（60トン/分）1 台の購入（令和7年3月末納車予定）
- ⇒水位監視カメラの設置

設置箇所：西仙北地域・大佐沢樋門（令和5年9月19日）

仙北地域・仙北自動車学校裏（令和6年3月実施予定）



排水ポンプ車の購入



水位監視カメラの設置

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒自主防災組織等の避難訓練の実施支援（14団体）
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒大曲中学校における避難所開設訓練の実施支援（令和5年10月12日）
 - ⇒防災講話と避難所開設研修を大曲工業高校で実施（令和5年11月13日）
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
 - ⇒新規開設施設への避難確保計画作成と避難訓練の実施を促進（136/136施設で計画策定済）



避難所開設訓練

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
⇒ 自主防災組織へ「地区防災マップ・マイタイムライン」の作成支援
(平成30年～令和6年1月末まで 53組織作成)
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒ 防災メール、スマホアプリ、各種SNS、防災ラジオ等を活用した情報伝達手段の多重化（継続）
⇒ WEB版ハザードマップを活用した情報提供（水位、通行止め等）（継続）



防災ラジオ

■ソフト対策【ねばる】

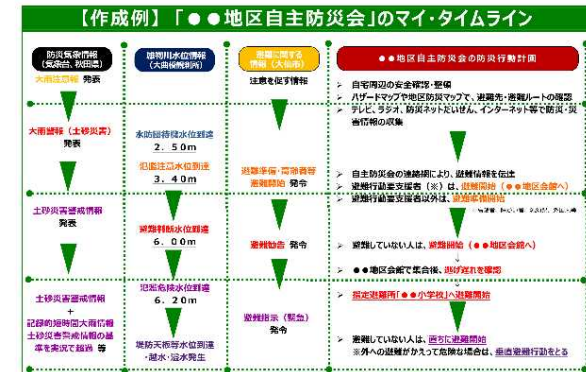
②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・重要水防箇所の合同巡視
⇒ 国との重要水防箇所の合同巡視（令和5年5月29日）
⇒ 県との重要水防箇所の合同巡視（令和5年7月7日）
- ・水防資機材の保有状況の確認
⇒ 水防講習会の実施（土のう作成）（令和5年6月4日）

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒ 国・県・市の3機関合同による排水ポンプ車配置・操作訓練（令和5年5月19日）



マイタイムラインの作成支援



排水ポンプ車配置・操作訓練

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒可搬式排水ポンプ制御盤設置工事の実施（令和6年出水期までに施工予定）

実施箇所：神岡地域・後川樋門

西仙北地域・大沢川樋門、強首輪中堤

協和地域・小平沢川樋門、沼館川樋門

⇒国の乗越管を占用し内水排水作業を実施（令和6年出水期までに施工予定）

実施箇所：西仙北地域・大沢川樋門、強首輪中堤

協和地域・小平沢川樋門

⇒マスプロダクツ型排水ポンプ設備の実証試験（令和10年3月末まで）



湯沢河川国道事務所との乗越管現地視察

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・他機関連携型タイムラインの充実

⇒出水時における河川管理者と自治体間の円滑な情報共有及び相互の連携強化

を図ることを目的とした「雄物川危機管理演習」の実施（令和6年11月頃）

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒自主防災組織等の避難訓練の実施支援（継続）

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒中学校等における避難所開設訓練などを実施（継続）

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒新規開設施設への避難確保計画作成と避難訓練の実施を促進（継続）



避難所開設訓練



雄物川危機管理演習

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
 - ⇒ 自主防災組織へ「地区防災マップ・マイタイムライン」の作成支援（継続）
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ 防災メール、スマホアプリ、各種SNS、防災ラジオ等を活用した情報伝達手段の多重化（継続）
 - ⇒ Jアラート自動起動装置の更新（防災メール、防災ラジオとの連携）（R7年3月末完成予定）
 - ⇒ WEB版ハザードマップを活用した情報提供（水位、通行止め等）（継続）

手順⑨ 地区防災マップの作成



地区防災マップの作成支援

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒ 国との重要水防箇所の合同巡視（継続）
 - ⇒ 県との重要水防箇所の合同巡視（継続）
- ・水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 水防講習会の実施（水防工法）（継続）

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
 - ⇒ 国・県・市の3機関合同による排水ポンプ車配置・操作訓練（継続）



国・県との合同巡視

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○水防講習会の実施

- ⇒ 土嚢積みやロープワークの講習会を開催、水害から市民を守るための取り組みをを行った。

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・ 水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒ **自主防災組織と連携し訓練や啓発活動を実施した。**
- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
 - ⇒ **避難訓練を毎年実施するよう周知する。**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ **LINEによる防災情報配信を継続実施。**

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ **出水期前に保有状況を確認した。**

水防講習会の様子



土嚢積み(上)とロープワーク(下)の様子



■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
⇒ **自主防災組織と連携し訓練を実施する。**
- ・神奈川県大和市との協定締結
⇒ **災害発生時、被災者支援等の応急措置の実施が十分にできない場合における、協定市相互の救援資機材の援助及び被災者支援について、必要な事項を定めた。**
- ・仙北市防災の集い
⇒ **日頃から災害の教訓を風化させないよう防災知識の普及・啓発を図ることを目的とし「仙北市防災の集い」を市内の小学校を会場に開催した。**

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・水防資機材の保有状況の確認
⇒ **出水期前に資機材を確認した。**

神奈川県大和市との協定締結 (令和5年10月20日) 仙北市役所



大和市古谷田市長(左)と 仙北市田口市長(右)

仙北市防災の集い (令和5年7月21日) 生保内小学校



■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

【参考：氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策】

⇒ 水防講習会等を実施し、災害に備える。

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 ⇒ 自主防災組織と連携し訓練を実施する。

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 ⇒ 市内の小中学校で訓練など、防災教育を実施する。（7～9月実施予定）

・社会福祉協議会等との連携
 ⇒ 災害時における介護事業所や社会福祉協議会と市役所の情報共有方法を打ち合わせする。

・防災情報伝達
 ⇒ 防災無線に変わるスマホを活用した新防災情報伝達システムの新規導入。

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・水防資機材の保有状況の確認
 ⇒ 出水期前に資機材を確認する。

自主防災組織 防災勉強会
 （講師 仙北市総合防災課）



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒美郷町業務継続計画（BCP）を運用中

■ソフト対策【動かす】①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・防災教育の実施

⇒町内小中学校の避難訓練に併せて防災教育を実施（小学校4校、中学校1校）

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災無線、防災ラジオ及び防災メールの運用

・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの周知

⇒防災啓発を図り、ハザードマップを利用した「防災ハザードクイズ」を町広報誌に掲載

■ソフト対策【ねばる】②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒水防団による水防訓練講習を実施（右写真は水防工法：川倉）

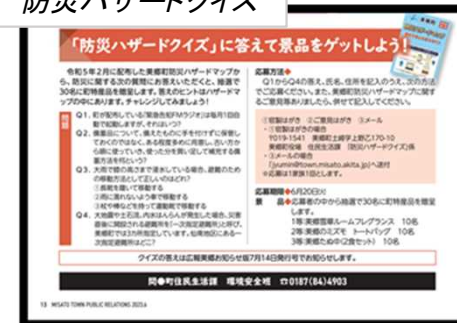
・水防資機材の保有状況の確認

⇒出水期前に水防倉庫及び各消防ポンプ庫の水防資機材の保有数を確認

防災教育



防災ハザードクイズ



水防訓練講習



■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒美郷町業務継続計画（BCP）を運用中

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒県振興局と危険箇所の合同点検を実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災無線、防災ラジオ及び防災メールの運用

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒大曲仙北広域市町村圏組合消防本部と連携し、水防訓練を実施

・水防資機材の保有状況の確認

⇒出水期前に水防倉庫及び各消防ポンプ庫の水防資機材の保有数を確認

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策

⇒ 羽後町業務継続計画（BCP）の運用およびこれに基づく施設点検・保守

■ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充

⇒ 緊急告知FMラジオ 運用開始・約7割の世帯へ配布完了

⇒ 緊急情報一斉配信システム及びLINEの導入

⇒ WEB版ハザードマップの導入・避難所情報などの随時更新

■ソフト対策 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練、水防体制の再確認の実施

⇒ 6月4日 湯沢市・東成瀬村との合同水防講習会を実施

・重要水防箇所合同巡視

⇒ 5月19日 直轄河川の重要水防箇所合同点検に参加

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ 継続実施

緊急告知FMラジオ



■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策

⇒ 羽後町業務継続計画（BCP）の運用およびこれに基づく施設点検・保守

■ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充

⇒ 緊急告知FMラジオを主とした緊急情報伝達手段の多重化を推進

⇒ 登録制メール・防災LINE認知度向上による登録者の確保

⇒ 市郡持ち回りの総合防災訓練の実施

■ソフト対策 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練、水防体制の再確認の実施

⇒ 6月 湯沢市・東成瀬村との合同水防訓練を実施

・重要水防箇所合同巡視

⇒ 6月 直轄河川の重要水防箇所合同点検に参加

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ 継続実施

水防訓練



雄物川重要水防箇所の合同点検



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 東成瀬村業務継続計画の運用

■ソフト対策【動かす】

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 総合防災訓練の実施（10月26日）

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 該当施設に対し、避難計画の作成と訓練の実施を周知及びBCP作成の推進

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 防災行政無線の維持管理、新規格に対応した移動系無線機の整備をR6年度継続

■ソフト対策【ねばる】

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ 水防訓練の参加（6月4日）

・重要水防箇所合同巡視

⇒ 秋田県・東成瀬分署ほか河川等の合同巡視を実施（6月28日）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ **東成瀬村業務継続計画の運用**

■ソフト対策【動かす】

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・多機関連携型タイムラインの充実

⇒ **気象防災ワークショップへの参加**

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ **総合防災訓練の実施**

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ **該当施設に対し、避難計画の作成と訓練の実施を呼びかける**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ **防災行政無線の維持管理、新規格に対応した移動系無線機の整備**

■ソフト対策【ねばる】

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ **水防訓練の参加**

・重要水防箇所の手合同巡視

⇒ **秋田県・東成瀬分署ほか河川等の合同巡視を実施**

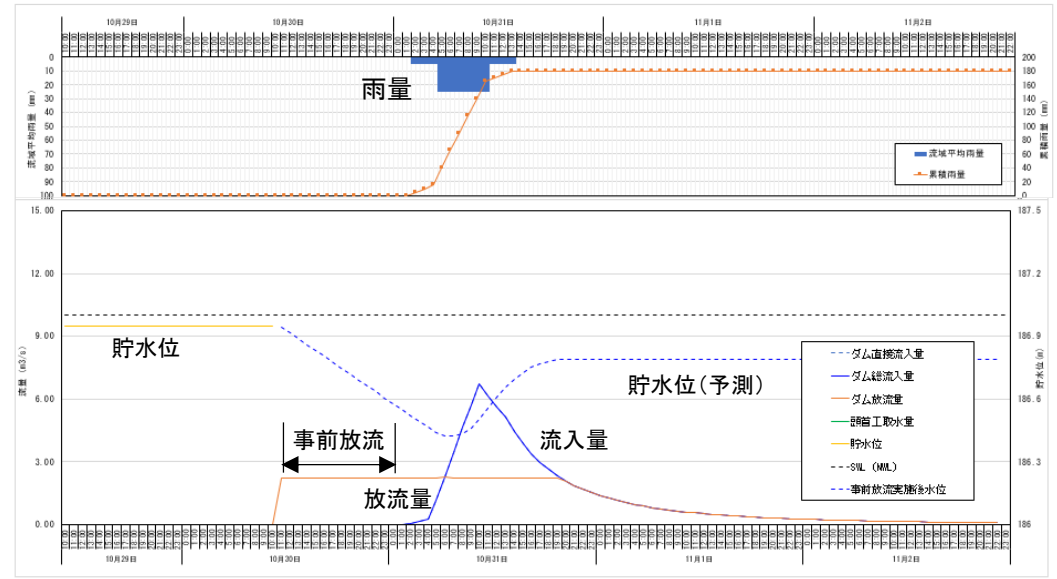
■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
 - ⇒ 農業用利水ダムの事前放流について、関係機関と気象情報を共有して取組を行った。R5年度は、かんがい期間中からダム貯水に空容量があり、事前放流には至らなかった。
 - ⇒ 「雄物川水系治水協定」に基づく事前放流の機能強化を図るため、R4年度に構築した相野々ダム「簡易流入量予測システム」をダム管理者と共有し、予測降雨日時、予測降雨量を用いて、ダム地点における流入量、貯水位、放流量を予測し事前放流の開始及び中止の判断検討に活用してダム事前放流機能強化の取組を行った。

2020/5/12 16:00		第一関節工からの取水の開始		第二関節工からの取水の開始		第三関節工からの取水の開始		
取水開始時刻	2020/5/12 16:00	あり / なし	あり / なし	あり / なし	あり / なし	あり / なし	あり / なし	
ダム貯水量 (千t)	1.9	0	0	0	0	0	0	
貯水容量 (千t)	2.0	0	0	0	0	0	0	
貯水率 (%)	95	0	0	0	0	0	0	
最大貯水量 (千t)	2.0	0	0	0	0	0	0	
最大貯水率 (%)	100	0	0	0	0	0	0	
時刻	雨量 (mm)	取水雨量 (mm)	ダム貯水流入量 (千t/h)	第一関節工貯水流入量 (千t/h)	第二関節工貯水流入量 (千t/h)	第三関節工貯水流入量 (千t/h)	貯水率 (%)	事前放流実施時の貯水率 (%)
2020/5/11 16:00	0.0	0.0	1.64	1.49	2.63	2.63	249.45	
2020/5/11 17:00	0.0	0.0	1.93	1.37	2.39	2.39	249.45	
2020/5/11 18:00	0.0	0.0	2.21	1.31	2.52	2.52	249.45	
2020/5/11 19:00	0.0	0.0	1.13	1.25	2.38	2.38	249.45	
2020/5/11 20:00	0.0	0.0	1.17	1.20	2.37	2.37	249.50	
2020/5/11 21:00	0.0	0.0	1.27	1.09	2.36	2.36	249.51	
2020/5/11 22:00	0.0	0.0	1.30	1.09	2.48	2.48	249.52	
2020/5/11 23:00	0.0	0.0	1.45	0.93	2.38	2.38	249.53	
2020/5/12 0:00	0.0	0.0	0.38	0.88	1.35	1.35	249.53	
2020/5/12 1:00	0.0	0.0	0.45	0.78	1.23	1.23	249.53	
2020/5/12 2:00	0.0	0.0	1.65	0.68	2.34	2.34	249.54	
2020/5/12 3:00	0.0	0.0	0.69	0.68	1.27	1.27	249.54	
2020/5/12 4:00	0.0	0.0	0.64	0.64	1.28	1.28	249.54	
2020/5/12 5:00	0.0	0.0	0.78	0.65	1.25	1.25	249.54	
2020/5/12 6:00	0.0	0.0	0.74	0.61	1.25	1.25	249.54	
2020/5/12 7:00	0.0	0.0	0.78	0.47	1.25	1.25	249.54	
2020/5/12 8:00	0.0	0.0	0.81	0.43	1.24	1.24	249.54	
2020/5/12 9:00	0.0	0.0	-0.29	0.47	0.47	0.17	249.53	
2020/5/12 10:00	0.0	0.0	0.87	0.39	1.25	1.25	249.53	
2020/5/12 11:00	0.0	0.0	0.90	0.39	1.28	1.28	249.53	
2020/5/12 12:00	0.0	0.0	-0.24	0.39	0.39	0.14	249.52	
2020/5/12 13:00	0.0	0.0	0.88	0.47	1.34	1.34	249.52	
2020/5/12 14:00	0.0	0.0	-0.35	0.65	0.65	0.19	249.51	
2020/5/12 15:00	0.0	0.0	1.48	0.64	2.43	2.43	249.52	
2020/5/12 16:00	0.0	0.0	0.64	0.68	1.32	1.32	249.52	
2020/5/12 17:00	0.7	0.7	0.64	0.60	0.64	1.00	249.52	
2020/5/12 18:00	0.7	1.3	0.64	0.60	0.64	1.00	249.51	
2020/5/12 19:00	0.7	2.0	0.64	0.60	0.64	1.00	249.50	
2020/5/12 20:00	1.6	3.6	0.65	0.60	0.65	1.00	249.49	
2020/5/12 21:00	1.6	5.2	0.65	0.60	0.65	1.00	249.48	
2020/5/12 22:00	1.6	6.8	0.70	0.60	0.70	1.00	249.46	
2020/5/12 23:00	7.7	14.5	0.71	0.60	1.01	1.00	249.45	
2020/5/13 0:00	7.7	21.8	1.64	0.60	1.64	1.00	249.44	
2020/5/13 1:00	7.7	29.6	2.15	0.60	2.15	1.00	249.44	
2020/5/13 2:00	19.0	48.6	3.95	0.60	3.95	1.00	249.44	
2020/5/13 3:00	19.0	67.6	3.75	0.60	3.75	1.00	249.45	
2020/5/13 4:00	19.0	86.6	3.50	0.60	3.50	1.00	249.46	
2020/5/13 5:00	19.7	105.6	3.85	0.60	3.85	1.00	249.48	
2020/5/13 6:00	19.7	124.6	3.30	0.60	3.30	1.00	249.51	
2020/5/13 7:00	19.7	143.6	3.00	0.60	3.00	1.00	249.52	
2020/5/13 8:00	33.3	162.6	2.19	0.60	2.19	0.84	249.52	
2020/5/13 9:00	33.3	181.6	1.51	0.60	1.51	0.65	249.50	
2020/5/13 10:00	33.3	200.6	0.85	0.60	0.85	0.45	249.48	
2020/5/13 11:00	33.3	219.6	0.24	0.60	0.24	0.24	249.47	



予測雨量日時、予測降雨量等を入力すると放流量等を予測し、ハイドログラフ化

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
 - ⇒ 農業用利水ダムの事前放流及び貯水位運用について、流域関係機関と気象情報を共有し、機能強化・体制強化の取組を継続していく。
 - ⇒ 相野々ダム「簡易流入量予測システム」を用いて、引き続きダム事前放流の開始及び中止の判断検討に活用するとともにダム地点における予測流入量と実測流入量の比較検証を行い、システムの諸係数を見直し調整して精度向上に取り組む。

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・多機関連携型タイムラインの充実

⇒秋田県と連携し地方公共団体防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催。

土砂災害編・河川洪水災害編について、参加者が防災気象情報の有効活用や体制構築等の判断のポイントを学習して、防災対応力の向上を図れるよう支援した。

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒秋田県教育委員会の「安全教育推進委員会」に参画して、「安全管理指導者研修」や「外部指導者派遣事業」に講師を派遣し、防災教育を実施した。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

⇒防災気象情報に関しては、出前講座等で機会あるごとに解説を行い利活用促進に努めている。また、大雨・洪水の注意報、警報基準がより適切な判定結果となるように最新の災害データを基に見直しを行った。

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒災害発生時は、後日各市町村防災担当者に対応についての振り返りを行っている。



学校安全外部指導者派遣事業



気象防災ワークショップ

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・多機関連携型タイムラインの充実

⇒本年度も各機関で防災訓練等の実施の際は是非参加・協力させて頂きたい。

また、地方公共団体防災担当者向け「気象防災ワークショップ」について引き続きリモート環境での開催を含め検討している。

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒本年度も秋田県教育委員会と連携し、「外部指導者派遣事業」についてリモート環境での開催を含め実施予定。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

⇒本年度も防災気象情報は機会あるごとに解説を行い利活用促進に努める。また、大雨・洪水の注意報、警報の発表基準がより適切な判定結果となるように最新の災害データを基に見直しを行う。

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒県内各市町村を訪問し防災担当者との情報交換を行うと共に、災害発生時は後日防災担当者との対応についての振り返りを行う。

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるごとまちごとハザードマップの推進

⇒最新のハザードマップを年に1回確認し、それを基に、関係する現業機関において避難マニュアルを見直し、修正を図った。【継続】

⇒2023年7月大雨時、気象庁のホームページ等で気象関係の情報を取得するとともに、各自治体のホームページ等で避難情報を取得し、避難情報における「避難指示」や「緊急安全確保」が発令された地域について、お客さまや社員の所在を確認し、避難を指示した。
また、「避難指示」等解除後の鉄道設備の点検、運転再開に向けて、関係する自治体の防災担当に連絡し、「避難指示」等の解除に関する情報を取得した。

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるごとまちごとハザードマップの推進
- ⇒最新のハザードマップを年に1回確認し、それを基に、関係する現業機関において避難マニュアルを見直し、修正を図る。【継続】
- ⇒災害が発生した際は気象庁や各自治体等の防災情報をホームページ等で入手するとともに、必要に応じて関係する自治体の防災担当から直接入手して、引き続きお客さまや社員の安全確保に努めていく。【継続】

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
⇒**プッシュ型洪水予報等の情報を活用するシステム構築に参加し、事前放流の体制作りを行った。**

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
⇒**プッシュ型洪水予報等の情報を活用するシステム構築に参加し、事前放流の体制作りを行う。**

■ハード対策（洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策） 河道掘削 雄物川水系 県管理河川【継続実施】

河川の流下能力を短期間で向上させ、洪水を安全に流す取組として、河道掘削や伐木を実施する。

■ 淀川 大仙市協和境地区 河道掘削、伐木



対策後



■ 狙半内川 横手市増田町狙半内地区 河道掘削、伐木



対策後



➤ 水田がもつ水を貯める機能を最大限活用～田んぼダム～

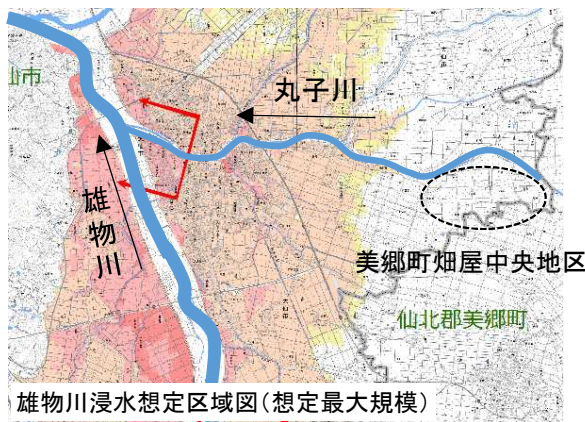
- 水田の排水口への堰板の設置等による流出抑制（いわゆる「田んぼダム」）によって、下流域の洪水被害リスクを低減する取組を実施
- 令和元年度からは「田んぼダム」等による営農への影響や洪水被害軽減等を調査・検証を実施

位置図



過去の災害における被害状況

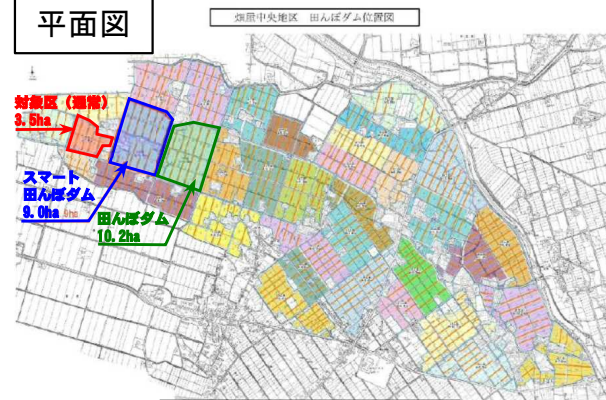
- 平成29年7月洪水（雄物川流域）
 - ・全壊戸数3戸、半壊戸数43戸
 - ・浸水家屋590戸、床下浸水1471戸
 - ・農地・道路等冠水（秋田県総合防災課調べ）



防災対策の取組の方向性

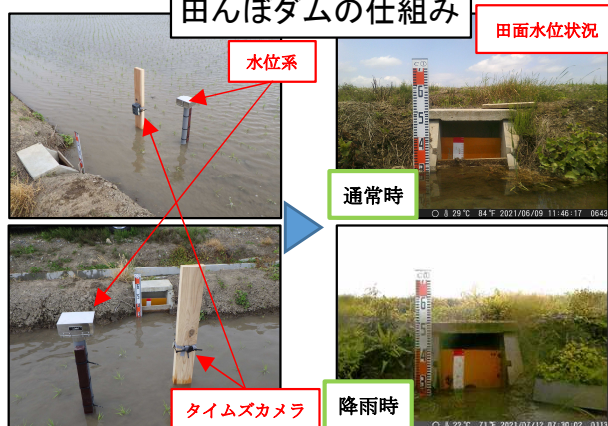
- 流域治水の取組の一つとして田んぼが元々持っている水を貯める機能を利用し、大雨の際に一時的に田んぼに水を貯め、ゆっくりと排水することで農地や市街地の洪水被害を軽減しようという取り組みが開始
- 河川上流域の農業者が地域共同で取り組む「田んぼダム等」の取組は、下流域の氾濫をできるだけ軽減できる対策として期待

平面図

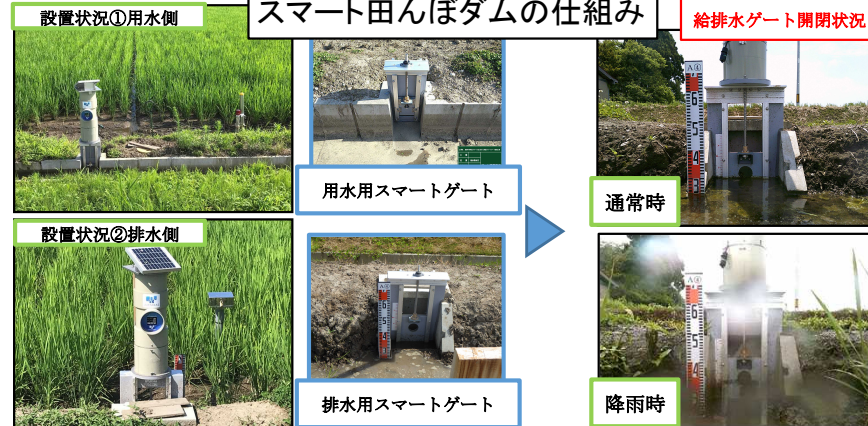


- 秋田県美郷町畑屋中央地区では、令和元年度に1haで水位調整板を設置し「田んぼダム」による営農への影響等がないか調査を実施
- その結果、特段の影響がないことから、令和2年度は10haで「田んぼダム」に取り組みつつ、令和3年度からは自動給排水システムにより全自動で水管理を行うスマート農業を組合わせた「スマート田んぼダム」も加え、実証事業を開始
- 雄物川沿川の市街地の近傍や上流域においては、広大な水田が存在しており、洪水被害軽減に大きな効果が期待

田んぼダムの仕組み



スマート田んぼダムの仕組み



※具体的な対策内容については関係機関で調整中であり、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

➤ 水田がもつ水を貯める機能を最大限活用～田んぼダム～

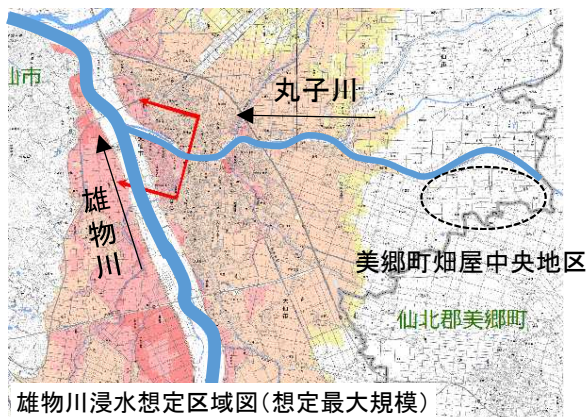
- 水田の排水口への堰板の設置等による流出抑制（いわゆる「田んぼダム」）によって、下流域の洪水被害リスクを低減する取組を実施
- 令和元年度からは「田んぼダム」等による営農への影響や洪水被害軽減等を調査・検証を実施

位置図



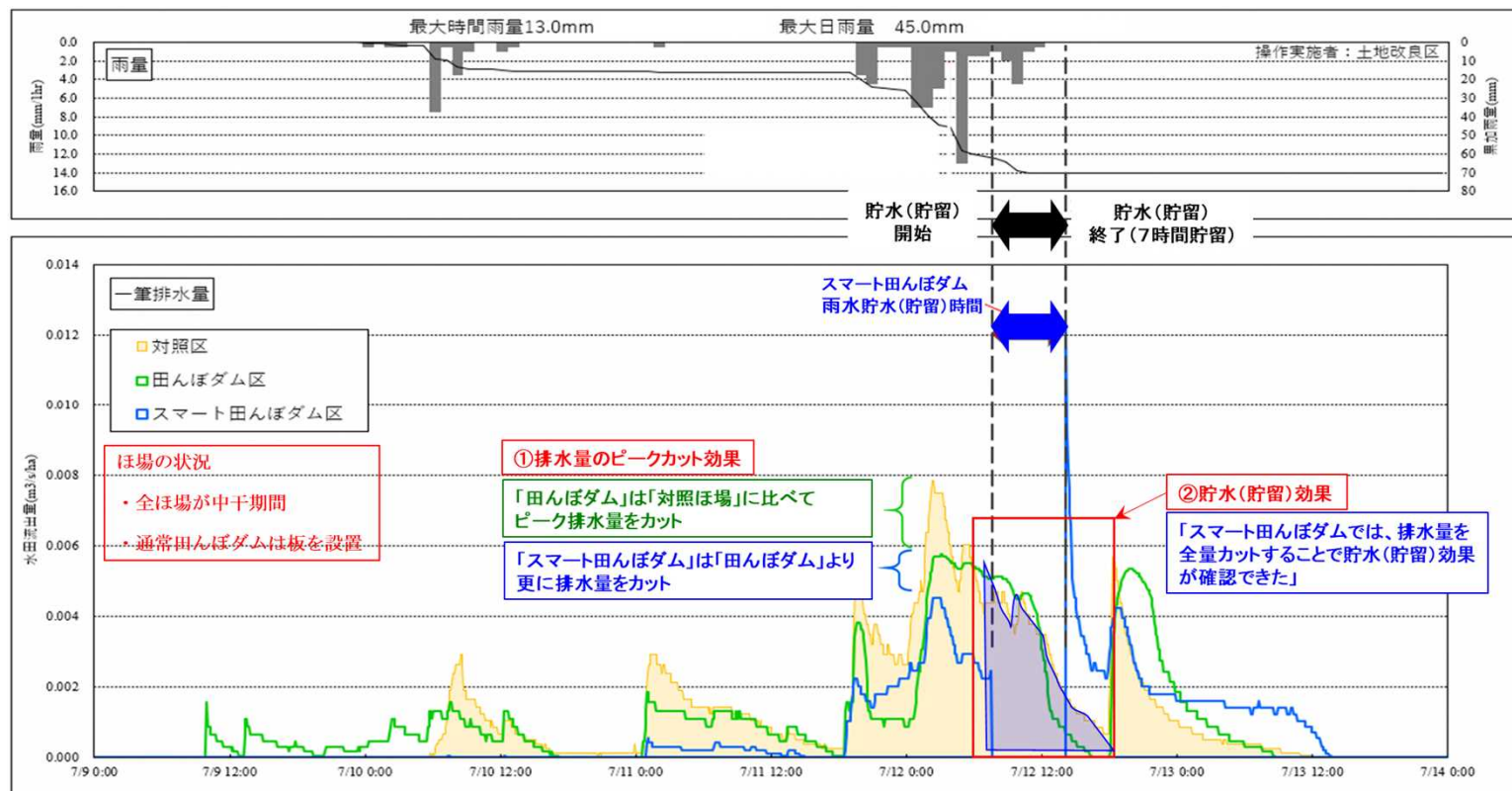
過去の災害における被害状況

- 平成29年7月洪水（雄物川流域）
- ・全壊戸数3戸、半壊戸数43戸
- ・浸水家屋590戸、床下浸水1471戸
- ・農地・道路等冠水（秋田県総合防災課調べ）



田んぼダム等効果検証(令和4年度)

- 美郷町畑屋中央地区で行われている田んぼダムやスマート田んぼダムの取組では、令和3年度の降雨データを活用し、「対照ほ場(通常ほ場)」、「従来田んぼダム」、「スマート田んぼダム」の実証データを比較することで、①「排水量のピークカット効果」、②「スマート田んぼダムでは自動排水栓により一斉落水(排水)し、一時的に雨水を貯水(貯留)する効果」が確認



■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

○簡易水位計等の基盤整備【継続実施】

⇒ 危機管理型水位計の運用 (R3年2月から運用開始)

- ・きめ細やかな水位把握が必要な河川へ設置し、洪水時における市町村の避難勧告等の発令や地域住民の適時的確な避難に役立つ水位情報提供の充実を図る。
- ・データ画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/index.html>



【猿田川】秋田市牛島西 (開中道二号橋)

県管理河川振興局別
危機管理型水位計設置数

秋田県

振興局	河川数	設置基数
鹿角	15	21
北秋田	32	40
山本	13	14
秋田	27	37
由利	15	18
仙北	22	25
平鹿	8	8
雄勝	22	25
重複河川控除	-5	
計	149	188

秋田県河川砂防情報システム

雨量観測情報

- 状況図
- 現況表
- 一括表選択
- 一覧表選択

地域別記

知りたい情報を選び地域に絞り込まれる

雨量情報



水位観測情報

- 状況図
- 現況表
- 一括表選択
- 一覧表選択

河川カメラ

危険管理型水位状況図 (全県) 2021年06月22日 16時50分 現在
アイコンをクリックするとグラフを表示します。

凡例(危険管理型水位計局)

- ▲ 氾濫開始水位超過
- ▲ 危険水位超過
- ▲ 観測開始水位超過
- ▲ 観測開始水位未満
- ▲ 欠測/無効

凡例(水位局)

- 氾濫発生
- 氾濫危険水位超過
- 避難判断水位超過
- 氾濫注意水位超過
- 水防団待機水位超過
- 通常
- 欠測/無効

現在、観測開始水位以下です。

観測データ (05/17 01:00-05/17 24:00)

月/日	05/17											
時:分	01:00	02:00	03:00	04:00	05:00	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00
時間	3.0	4.0	3.0	10.0	11.0	7.0	5.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
累加	31.0	35.0	38.0	48.0	59.0	66.0	71.0	72.0	72.0	72.0	72.0	72.0
水位					-2.92	-2.70	-2.53	-2.48	-2.48	-2.48	-2.51	-2.57

月/日	05/17											
時:分	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00
時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
累加	72.0	72.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水位	-2.66	-2.76	-2.87	-2.97								

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易型カメラ等の基盤整備【継続実施】

⇒簡易型河川監視カメラの運用（R2年4月から運用開始）

・リアリティーのある河川の状況を画像で伝えることで、住民の適時的確な避難判断、避難行動を促す。

・カメラの画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/index.html>



県管理河川振興局別
簡易型河川監視カメラ設置数

秋田県

振興局	河川数	設置基数
鹿角	5	6
北秋田	8	8
山本	3	4
秋田	9	9
由利	4	8
仙北	10	14
平鹿	2	4
雄勝	2	3
重複河川控除	-1	
計	42	56

河川カメラ一覧 2021年06月22日 16時50分 現在
カメラ画像をクリックすると河川カメラ履歴を表示します。

雄勝地域振興局

役内川 横堀(湯沢市)	役内川 湯ノ岱(湯沢市)	雄物川 下院内(湯沢市)
		
日時: 06/22 16:50	日時: 06/20 24:00	日時: 02/20 09:40
水位: ↓ -0.32[m]	水位: --[m]	水位: --[m]
警報状態: 通常	警報状態: 観測開始水位未滿	警報状態: 欠測

平鹿地域振興局

橋手川 上の橋(橋手市)	橋手川 寺村(橋手市)	橋手川 鋸倉(橋手市)	上湯川 町田(橋手市)
			
日時: 06/22 16:40	日時: 06/22 16:50	日時: 06/22 16:50	日時: 06/22 16:50
水位: → 0.04[m]	水位: ↑ -1.02[m]	水位: → -0.19[m]	水位: ↑ 1.16[m]
警報状態: 通常	警報状態: 通常	警報状態: 通常	警報状態: 通常

警報・注意報概況

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）継続実施

- ・秋田湾・雄物川流域下水道（臨海処理区）耐水化計画に基づき、過去に浸水被害を受けた流域下水道幹線マンホールポンプ場のレジリエンス向上のため、動力制御盤などの高所移設を検討



浸水状況（仁助中継ポンプ場）



浸水状況（平沢中継ポンプ場）

- ・秋田湾・雄物川流域下水道（大曲処理区）耐水化計画に基づき、終末処理場である大曲処理センターの冠水時においても、汚水処理機能を確認するための工事に着手



■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組 (継続実施)

- ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒ 平成27年の水防法の改正に伴い、これまでの洪水浸水想定区域を見直し、秋田県美の国ネットにてデータを公表。
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/10574>

令和4年度：浸水想定図公表：3河川 水位周知河川指定：3河川 (檜山川,上溝川,雄物川(指定区間))

令和5年度：浸水想定図公表：1河川 水位周知河川指定：2河川 (新波川,馬踏川)



美の国あきたネット
河川砂防課

- 平成30年5月豪雨により大きな被害を受けた馬踏川の緊急的な治水対策工事が完了しました。 [2020年04月20日]
- ダムカード配布の一時休止のお知らせ [2020年03月02日]
- 平成29年7月豪雨により大きな被害を受けた沢川等の県管理河川において緊急的な治水対策を実施します [2017年12月01日]
- 河川砂防課の業務案内 [2016年02月10日]

河川砂防課からのお知らせ

- 簡易型河川監視カメラの運用を開始します [2020年04月24日]
- 平成30年5月豪雨により大きな被害を受けた馬踏川の緊急的な治水対策工事が完了しました。 [2020年04月20日]
- 危機管理型水位計の運用を開始します [2019年03月29日]
- 平成29年7月豪雨により大きな被害を受けた沢川等の県管理河川において緊急的な治水対策を実施します [2017年12月01日]
- 水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会を開催しました [2017年03月21日]

「河川」に関すること

- 【想定最大規模による】県管理河川の洪水浸水想定区域図について [2020年04月28日]
- 秋田の現在の水害・土砂災害対策 [2016年03月09日]

「河川」に関することの関連ジャンル

- 河川整備基本方針・河川整備計画
- 河川

「海岸」に関すること

- 秋田沿岸の津波浸水想定の設定について [2016年04月04日]
- 秋田県沿岸における設計津波の水位の設定について [2016年03月09日]
- 海岸協力団体を募集します [2014年09月24日]
- 海岸に漂着したボリ容器に注意願います。 [2012年02月23日]
- 私たちの海が泣いています！ [2010年03月09日]

「海岸」に関することの関連ジャンル

- 秋田沿岸海岸保全基本計画



【想定最大規模による】県管理河川の洪水浸水想定区域図について

2020年04月28日 | コンテンツ番号 10574

近年、全国的に豪雨による洪水被害が発生しており、短時間で河川が増水したり、堤防が決壊して甚大な被害が発生する事象も増えてきています。秋田県においては、平成29年7月、翌平成30年5月の豪雨による洪水被害が記憶に新しいところです。

このような洪水時における人的被害を防ぐため、県民の皆様には普段より水害リスクを認識し、洪水時の危険箇所や避難場所についての正確な情報を知っていただくことが何より重要であるため、洪水被害が予想される市町村では、洪水ハザードマップを作成し配布しております。

秋田県では、平成27年の水防法の改正に伴い、洪水ハザードマップの基礎となっていた洪水浸水想定区域の見直しを進めており、今回の見直しでは、想定し得る最大規模の降雨により当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を洪水浸水想定区域として指定し、公表することとしています。

ここでは、秋田県が指定した対象河川における洪水浸水想定区域図等を公表していますので、自らの避難行動に役立ててください。

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域等

河川名	図面名	指定・公表年月日	関係市町村
旭川	洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) [PDF/6099KB]	令和元年8月6日	秋田市
	洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間) [PDF/6080KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図 (氾濫流) [PDF/6079KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図 (河岸浸食) [PDF/6076KB]		
	洪水浸水想定区域図 (計画規模) [PDF/5811KB]		
太平川	洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) [PDF/6032KB]	令和元年8月6日	秋田市
	洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間) [PDF/6066KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図 (氾濫流) [PDF/6090KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図 (河岸浸食) [PDF/6088KB]		
	洪水浸水想定区域図 (計画規模) [PDF/6087KB]		

県管理河川「想定最大規模降雨に対応した洪水浸水想定区域の公表状況」(市町村別)

水位周知指定河川 令和4年7月1日時点

NO	対象河川名	管内	市町村	浸没図作成	告示(R3迄)	告示(R4以降)	HM作成	備考
1	米代川	鹿角市	大館市	○	R1. 12. 24		R3	
2	小坂川	鹿角市	小坂町	○	R2. 4. 28		R3	
		鹿角市	小坂町			R3		
3	大湯川	鹿角市	鹿角市	○	R2. 4. 28		R3	
4	福士川	鹿角市	鹿角市	○	R2. 2. 10		R3	
5	熊沢川	鹿角市	鹿角市	○	R2. 6. 5		R3	
6	下内川	北秋田	大館市	○	R1. 7. 23		R1	
7	長木川	北秋田	大館市	○	R1. 7. 23		R1	
8	犀川	北秋田	大館市	○	R3. 6. 11		R4	
9	糠子川	北秋田	北秋田市	○	R1. 7. 12		R3	
10	小猿部川	北秋田	北秋田市	○	R1. 7. 12		R3	
11	阿仁川	北秋田	北秋田市	○	R2. 1. 31		R3	
		山本	能代市			R2		
12	小阿仁川	北秋田	北秋田市	○	R2. 1. 31		R3	
		山本	上小阿仁村			R3		
13	藤琴川	山本	藤里町	○	R1. 9. 2		R1	
		山本	能代市			R2		
14	檜山川	山本	能代市	○	R4. 7. 1		R5予定	
15	三種川	山本	三種町	○	H31. 3. 22		R1	
16	太平川	秋田	秋田市	○	R1. 8. 6		R3-4	
17	岩見川	秋田	秋田市	○	R2. 7. 10		R3-4	
18	旭川	秋田	秋田市	○	R1. 8. 6		R3-4	
19	草生津川	秋田	秋田市	○	R2. 7. 10		R3-4	
20	猿田川	秋田	秋田市	○	R2. 5. 15		R3-4	
21	新城川	秋田	秋田市	○	R1. 8. 6		R3-4	
22	馬場目川	秋田	五城目町	○	R2. 7. 10		R2	
		秋田	八郎潟町			R3		
		秋田	井川町			R3		
23	芋川	由利	由利本荘市	○	R1. 9. 13		R2	
24	白雪川	由利	にかほ市	○	R3. 6. 11		R4	
25	川口川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
26	窪堰川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
27	矢島川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
		仙北	美郷町			R3		
28	丸子川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
		仙北	美郷町			R3		
29	桧木内川	仙北	仙北市	○	R2. 7. 31		R2	
30	福部内川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
		仙北	美郷町			R3		
31	玉川	仙北	大仙市	○	R2. 7. 31		R3	
		仙北	仙北市			R2		
32	斉内川	仙北	大仙市	○	R2. 7. 31		R3	
33	入見内川	仙北	仙北市	○	R3. 6. 11		R3	
34	横手川	平鹿	横手市	○	R1. 11. 29		R2	
		平鹿	大仙市			R3		
35	上溝川	平鹿	美郷町	○	R4. 7. 1		R3	
		平鹿	横手市			R5予定		
36	役内川	雄勝	湯沢市	○	R1. 9. 27		R1	
37	雄物川	雄勝	湯沢市	○	R4. 7. 1		R5予定	
37河川		19市町村		37	37			

県管理河川「想定最大規模降雨に対応した洪水浸水想定区域の公表予定状況」(市町村別)

水位周知河川新規追加予定

NO	河川名	管内	市町村	浸没図(水位検討)	告示(R3迄)	告示(R4以降)	HM作成	備考
38	新波川	秋田	秋田市	R4(予定)		R5(予定)	未定	
39	馬踏川	秋田	秋田市	R4(予定)		R5(予定)	未定	
40	大沢川	仙北	大仙市	R5(予定)		R6(予定)	未定	

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組【継続実施】（ICT等を活用した洪水情報の提供）

⇒ スマートフォンやタブレットで、リアルタイムの河川画像にダイレクトにアクセス可能

■マップのQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ることでリアルタイムの河川画像などが見れます。

⇒ 県広報紙「あきたびじょん」で全戸配布済 ※美の国秋田ネットからも確認、ダウンロードできます。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/48409>

■令和3年4月運用開始 「秋田県河川砂防情報システムHP」をスマートフォン対応へ更新しました。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/sp/>



更新



防災情報 保存版 スマートフォンから簡単アクセス! **地域別 河川監視カメラダイレクトマップ**

QRコードを読み込むと、その地域の河川に設置されているカメラ画像にアクセスできます。このマップは、河川監視カメラが設置されている地域を掲載しています。 ※向かいの河川は、令和3年4月ごろ画像を公開予定

QRコードを読み込んで河川のの様子を見てみましょう。いざというときに備えて、画面をブックマークしておくとお便利です。(最新の情報を確認する際は、サイトを再読み込みしてください)

ご利用方法 1 QRコードを読み込む 2 アクセスしたい河川(箇所名)をタップ 3 カメラ画像へアクセス

北秋田・上小阿仁地域 蔵子川・小猿部川・阿仁川・小阿仁川	大館市 米代川・長木川・下内川・犀川	鹿角・小坂地域 米代川・福士川・黒沢川・大湯川・小坂川
能代・山本地域 藤等川・二種川・楡山川	秋田市(北部)・南秋地域 馬場目川・馬籠川・新城川・草生津川	仙北市 主川・樺木内川・入見内川
秋田市(北部以外) 旭川・猿田川・太平川・岩見川・新渡川	大仙・美郷地域 丸平川・福部内川・窪原川・川口川・玉川・青内川・矢島川・大沢川	横手市 横手川・上瀬川
由利本荘・にかほ地域 子吉川・幸川・石沢川・台雲川	湯沢市 役内川・雄物川	

県内を流れる重要管理河川(米代川、雄物川、子吉川)の防災に役立つ情報は、県上水道局が管理する「川の防災情報」をご覧ください。

防災情報 保存版 ちは、どうなの!? **水害と土砂災害のリスク**

自宅や学校、職場など、あなたの生活圏の危険性を平常時から確認し、避難行動について考えておきましょう。

水害 洪水が想定される範囲を確認できます。水害が想定される範囲を確認できます。水害が想定される範囲を確認できます。水害が想定される範囲を確認できます。

土砂災害 土砂災害の危険性を確認できます。土砂災害の危険性を確認できます。土砂災害の危険性を確認できます。土砂災害の危険性を確認できます。

防災情報 保存版 避難に役立つ 河川・土砂災害情報 **豪雨や洪水に、今から備えを**

あなたや家族の命を守るために。普段からの「備え」や「心掛け」が、いざというときに立ちます。

近年、豪雨や洪水が頻発 全国的に大雨による洪水などの自然災害が、毎年のように起きています。秋田県においても平成29年7月や令和3年5月に発生した豪雨による河川の氾濫や洪水により、大きな被害がありました。

自らの判断で避難行動を こうした水害から身を守るためには、一人ひとりが「自らの命は自ら守る」という意識を持ち、早めの避難行動をとることが大切です。今期、特別編集1～4ページに水害や土砂災害の避難に役立つ情報をまとめたので「活用」してご利用ください。

お近くの河川がどのような状態か、パソコンやスマートフォンなどで確認できます

ここでは、水位計による河川情報、河川の様子、雄物川をリアルタイムで観測する河川監視カメラ画像をウェブサイトで見ることができます。河川に近づくと危険なため、パソコンやスマートフォンからアクセスして確認することをおすすめします。ぜひ避難行動の目安にお役立てください。

こんな情報を配信しています!

- 雨量や水位の上昇状況がグラフで分かる
- 河川の現在の様子が見える
- 河川監視カメラは、24時間24時間稼働しています。(令和3年11月現在)
- スマートフォンから確認可能
- 今期新たに3カ所にカメラを設置予定
- 河川監視カメラの設置場所

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

気象台・県・市町村

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）

○秋田地方気象台と連携した気象防災ワークショップの開催（県総合防災課）

○ 洪水災害や土砂災害が発生するおそれのある状況下で、気象台が発表する様々な情報を活用し、地方公共団体での防災対応を疑似体験していただきました。各種の防災気象情報を理解し有効活用するとともに、体制の強化や避難指示発令のタイミングを検討することで判断のポイントを学びます。

今後も県内市町村の防災担当者に広く参加していただき、防災対応力の向上を目指します。

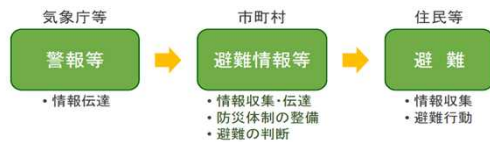
○ 地方公共団体等の防災対策協力・支援として引き続き気象防災ワークショップ実施し、現場担当者の防災対応力の向上を目指します。

気象防災ワークショップ（土砂災害）



地域防災力を高めるために

市町村職員として、気象庁などから提供される気象情報等を適切に使い、的確なタイミングで市の体制強化や避難の判断・伝達を実施することで、**住民の命を災害から守る**

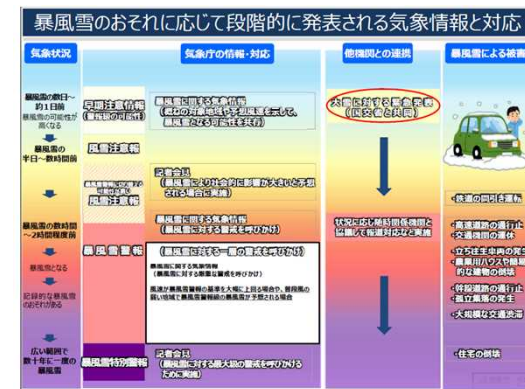


本ワークでの経験や気づきを今後の業務に活かしましょう！

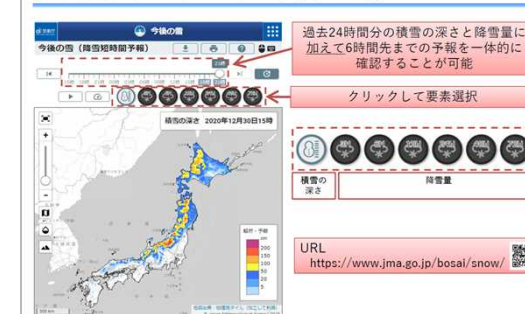


Web会議システムによるワークショップを開催

大雪・暴風雪のメカニズムと防災気象情報の利活用



気象庁ホームページ「今後の雪」



■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

県・市町村

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）
○秋田県防災アドバイザー派遣事業による防災力・知識の向上（県総合防災課）

地域全体の防災意識向上や地域の実情に応じた自主防災組織の結成促進、活動活性化を支援することを目的に、日本防災士会秋田県支部と連携し防災士を「防災アドバイザー」として派遣し、きめ細かなアドバイスを行うことで、地域防災力の向上を図っています。

【防災アドバイザーの業務】

- 自主防災組織の運営・活動支援
- 避難誘導・救助訓練、要援護者への対応要領を通じたの災害対応力の向上
- D I G（災害図上訓練）、HUG（避難所運営ゲーム）を通じて防災知識の普及・啓発を図る



防災士による講演状況



防災備蓄食料品の活用

○自主防災組織育成指導者研修会（県総合防災課・市町村）

災害発生時の自主防災体制の確立を目的に、自主防災組織のリーダーや自治会長、市町村防災担当職員を対象とした防災教育を実施しています。



秋田大学地域防災減災総合研究センター水田教授による講演



秋田地方気象台によるワークショップ



■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組【継続実施】

- ・重要水防箇所の合同巡視 ⇨ 重要水防箇所や水防資機材の共同確認

洪水時に危険が予想され、重点的な巡視点検が必要な箇所を関係機関と実施。



横手川（横手市）



上溝川（横手市）



淀川（大仙市）



田沢川（羽後町）

■ ソフト対策【ねばる】

② 氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

秋田県・市町村

■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組【継続実施】

・ 水防資機材の保有状況の確認 ⇨ 水防資機材の共同確認

事前に水防資機材の点検・準備を整え、直ちに水防活動を実施できる体制を確保。



水防倉庫：雄勝建設部



水防倉庫：平鹿建設部

■ソフト対策【戻す】 ③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組【継続実施】

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒ 梅雨前線による集中豪雨や秋の台風シーズンを控え、排水ポンプ車の操作や機材の設置に習熟するための訓練を実施。



■ソフト対策【戻す】 ③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

国・秋田県・市町村

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組【継続実施】

・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒ 梅雨前線による集中豪雨や秋の台風シーズンを控え、排水ポンプ車の操作や機材の設置に習熟するため関係機関の合同訓練を実施。



訓練状況写真：古川（秋田市）

■ハード対策

- 洪水氾濫を未然に防ぐ対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○堤防等整備

- ⇒秋田市（新波・左手子・戸草沢・種沢・戸賀沢・向野・川崎）地区
- 大仙市（福部羅・岩瀬湯野沢・中村芦沢・正手沢）地区 【継続】

○河道掘削

- ⇒秋田市左手子地区、大仙市大仙地区 【継続】

○ダム建設の推進

- ⇒成瀬ダム建設事業【継続】・令和5年度本体工事進捗：堤体積の約85%
- ・付替国道342号全線開通：令和5年4月29日

○簡易水位計等の基盤整備

- ⇒簡易型河川監視カメラ（全41基整備済）【継続】

○河川防災ステーションの整備

- ⇒秋田地区河川防災ステーション【継続】



岩瀬湯野沢地区堤防整備状況



大沢川樋門整備状況



戸草沢地区 堤防・排水樋門整備状況

成瀬ダム 本体工事進捗状況
(令和5年10月31日撮影)

■ソフト対策【動かす】

- ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
 - ⇒秋田市・羽後町と秋田・湯沢河国がそれぞれ連携し「洪水対応演習」を実施【継続】
 - ⇒討論型図上形式によるタイムライン検討会（課題等抽出等）を開催（湯沢市）【継続】
 - ⇒ロールプレイング形式でタイムラインの改善を目指し危機管理演習を開催（湯沢市）【継続】
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒流域市町村全校において、防災教育資料を展開（関係機関共同実施）【継続】
 - ⇒自然災害伝承碑のほか、水害に係わる昔話や伝承も含めて防災教育資料を作成【継続】



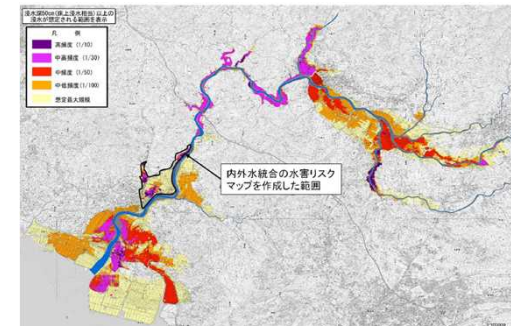
R5危機管理演習実施状況（左：湯沢市、右：湯沢河川国道）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
 - ⇒ 過去出水及び危機管理演習結果等を踏まえタイムラインの検証・見直し（関係機関共同実施）【継続】
- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
 - ⇒ ハザードマップ作成に必要な電子データを提供支援【継続】
 - ⇒ **雄物川中流右岸域を対象とした内外水一体型リスクマップの作成【新規】**
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ プッシュ型メールによる住民への情報提供及び周知広報を実施【継続】
 - ⇒ 基準水位や危険箇所等の設定根拠を対象自治体に説明【継続】



内外水一体型リスクマップ(イメージ)



危険箇所等の設定根拠を自治体に説明

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 秋田県 情報集約配信システムによる情報共有【継続】
- ・重要水防箇所の合同巡視、関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ 関係機関（水防団、各市町、秋田県、東北地方整備局）合同による重要水防箇所点検【継続】
 - ⇒ 流域自治体の水防訓練での排水ポンプ車活用の紹介と合同訓練実施【継続】



R5重要水防箇所合同点検(羽後町)

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備。
 - ⇒ ダム事前放流実施要領【継続】
 - ⇒ 玉川ダム・鎧畑ダム連携協定の締結（R3.6.8締結）

玉川ダムから鎧畑ダムの遠隔操作化に向けた機器整備【継続】

洪水時及び平常時におけるより効率的な情報提供や住民周知、治水・利水の一体的かつ総合的なダム運用【継続】



玉川ダム・鎧畑ダム
連携協定 締結式

■ソフト対策【戻す】

③日常生活および社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒排水ポンプ車操作訓練の実施【継続】

⇒ 福部内川に秋田県で設置された排水のための堤防乗り越し管の稼働等確認のため、秋田県、大仙市の3機関合同による排水ポンプ車設置訓練を実施【新規】

- ・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成

⇒ 長期にわたり浸水が継続する地域において、地域社会をいち早く復旧させるための排水計画（案）を作成【関係市町へ情報提供済】（今後は必要に応じてリバイス）【継続】



緊急排水計画(案)のイメージ



国交省・秋田県・大仙市による排水ポンプ車設置訓練状況

■ハード対策

○堤防等整備

⇒秋田市川崎地区【継続】

大仙市岩瀬湯野沢地区【継続】

○護岸等整備（災害復旧）

⇒大仙市（北檜岡・宇留井谷地・神宮寺・間倉・松倉）地区【新規】

○河道掘削

⇒秋田市左手子地区【継続】秋田地区【新規】、大仙市大仙地区【継続】

○ダム建設の推進

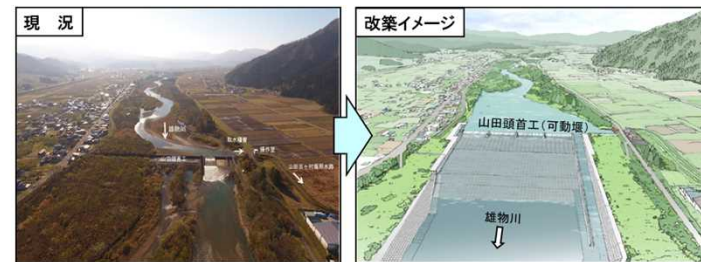
⇒成瀬ダム建設事業【継続】

○簡易水位計等の基盤整備

⇒簡易型河川監視カメラ（全41基整備済）【継続】

○河川防災ステーションの整備

⇒秋田地区河川防災ステーション【継続】



湯沢市山田地区に堰改築イメージ



秋田地区河川防災ステーション整備イメージ



成瀬ダム 完成イメージ

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒流域自治体と連携し「洪水対応演習」を開催予定【継続】

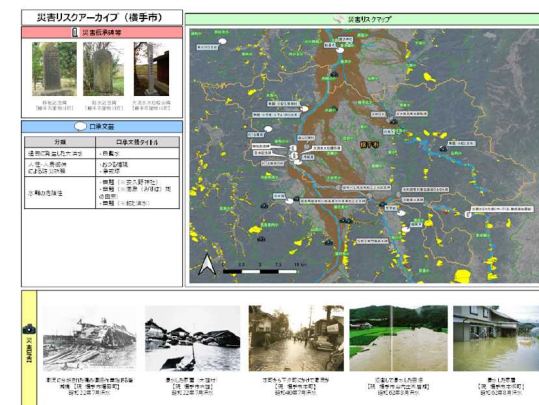
⇒討論型図上形式によるタイムライン検討会（課題等抽出等）を開催予定（大仙市）【継続】

⇒ロールプレイング形式でタイムラインの改善を目指し危機管理演習を開催予定（大仙市）【継続】

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒流域市町村全校において、防災教育資料を展開（関係機関共同実施）【継続】

⇒自然災害伝承碑のほか、水害に係わる昔話や伝承も含めて防災教育資料の展開【継続】



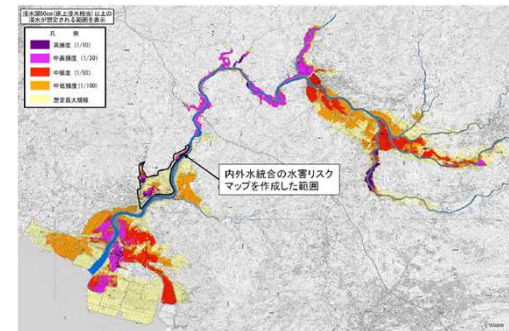
自然災害伝承碑等の防災教育資料の展開

■ソフト対策【動かす】

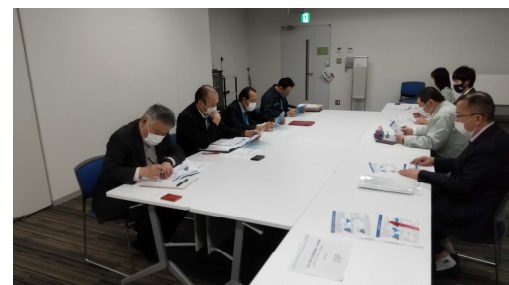
①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
 - ⇒ 過去出水及び危機管理演習結果等を踏まえタイムラインの検証・見直し（関係機関共同実施）【継続】
- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
 - ⇒ ハザードマップ作成に必要な電子データを提供支援【継続】
 - ⇒ 内外水一体型水害リスクマップ検討【継続】
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ プッシュ型メールによる住民への情報提供及び周知広報を実施【継続】
 - ⇒ 基準水位や危険箇所等の設定根拠を対象自治体に説明【継続】



内外水一体型リスクマップ(イメージ)



危険箇所等の設定根拠を自治体に説明

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 秋田県 情報集約配信システムによる情報共有【継続】
- ・重要水防箇所の合同巡視、関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ 関係機関（水防団、各市町、秋田県、東北地方整備局）合同による重要水防箇所点検【継続】
 - ⇒ 流域自治体の水防訓練での排水ポンプ車活用の紹介と合同訓練実施【継続】



R5重要水防箇所合同点検(羽後町)

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備。
 - ⇒ダム事前放流実施要領【継続】
 - ⇒玉川ダム・鎧畑ダム連携協定の締結（R3.6.8締結）

玉川ダムから鎧畑ダムの遠隔操作化に向けた機器整備【継続】

洪水時及び平常時におけるより効率的な情報提供や住民周知、治水・利水の一体的かつ総合的なダム運用【継続】



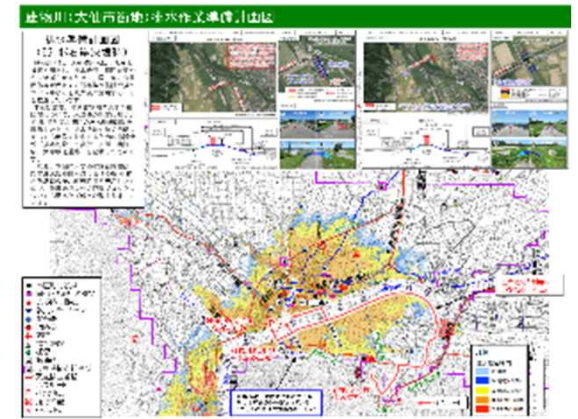
玉川ダム・鎧畑ダム
連携協定 締結式

■ソフト対策【戻す】

③日常生活および社会経済活動の一刻も早い回復を
可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
 - ⇒ 排水ポンプ車操作訓練の実施【継続】
 - ⇒ 福部内川に秋田県で設置された排水のための堤防乗り越し管の稼働等確認のため、秋田県、大仙市の3機関合同による排水ポンプ車設置訓練を検討【継続】
- ・ 排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成
 - ⇒ 長期にわたり浸水が継続する地域において、地域社会をいち早く復旧させるための排水計画（案）を作成【関係市町へ情報提供済（訓練を通してリバイス）】【継続】



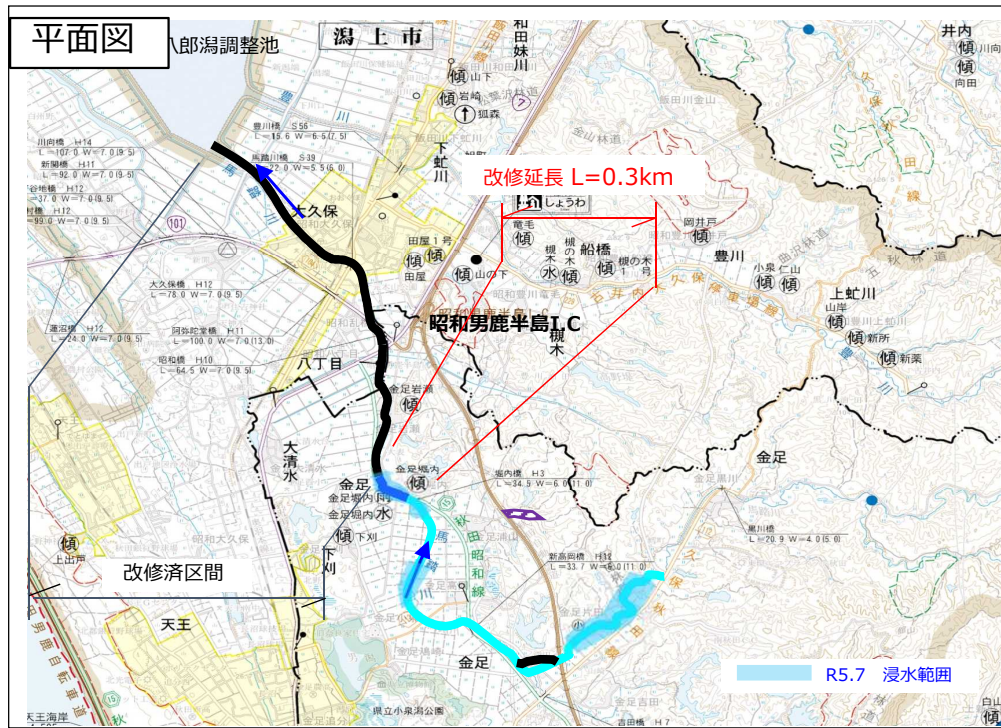
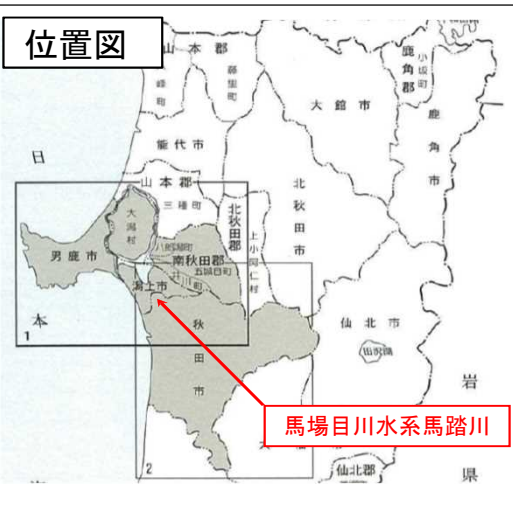
緊急排水計画(案)のイメージ



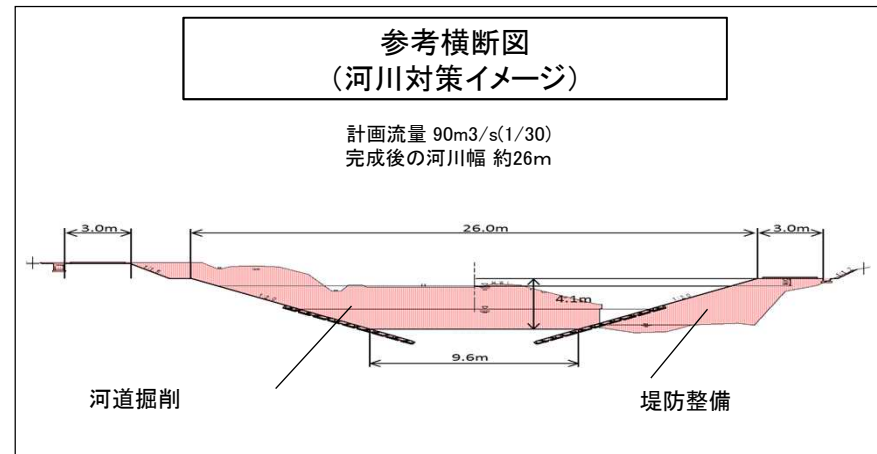
国交省・秋田県・大仙市による排水ポンプ車設置訓練状況

■ハード対策（洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策）

馬踏川中流部（秋田市金足堀内地区）では、河川が蛇行し狭隘で流下能力が低い区間があり、豪雨の際には床上浸水被害等が発生していることから、河道掘削や堤防整備を計画的に実施し、治水安全度の向上を図る。



過去の被害状況



※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

■ハード対策（洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策）

三種川中流部（山本中学校）から上流部（長面地区）では、河川が蛇行し狭隘で流下能力が低い区間があり、豪雨の際には床上浸水被害等が発生していることから、河道掘削や堤防整備を計画的に実施し、治水安全度の向上を図る。

位置図



平面図



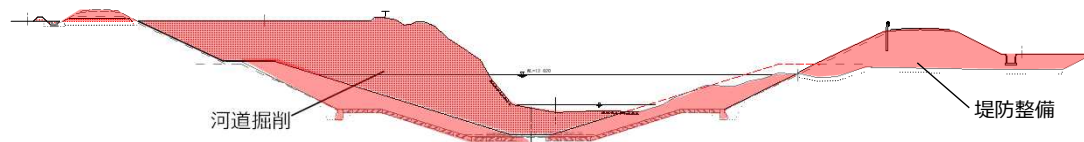
過去の被害状況



参考横断図（河川対策イメージ）

完成後の河川幅 約36m

計画流量 280m³/s(1/10)



■ハード対策（洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策） 河道掘削 馬場目川水系 県管理河川【継続実施】

河川の流下能力を短期間で向上させ、洪水を安全に流す取組として、河道掘削や伐木を実施する。

■ 馬場目川 五城目町久保地区 河道掘削、伐木



対策後



■ 赤沢川 井川町赤沢地区 河道掘削、伐木



対策後



国・県・市町村

■ハード対策【参考資料】田んぼダムの推進について

○洪水氾濫を軽減するためのハード対策（水田貯留）【継続実施】

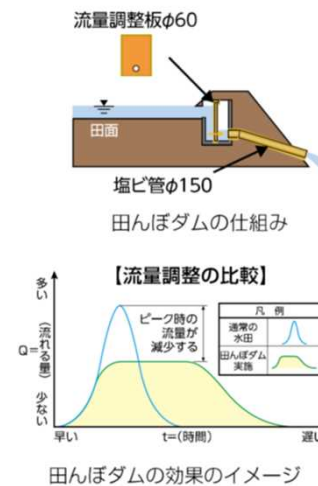


豪雨による農地や住宅地の被害
（大仙市 R2）

近年、県内外において集中豪雨等による災害が頻発化していることから、流域治水対策の一つとして「田んぼダム」の取組が注目されています。本県では、これまで水田の多面的機能維持の活動として、数地域において田んぼダムの取組が行われてきましたが、今後の更なる普及・拡大に向けて、モデル地区を設置し、田んぼダムの効果や課題等の検証を開始しました。

（1）実証モデル地区の設置

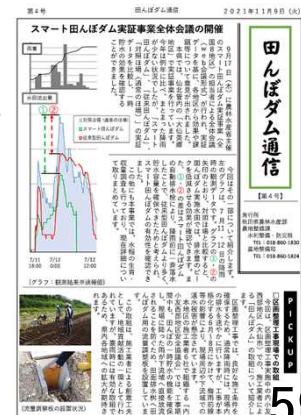
県内のほ場整備実施中の10地区において、流量調整板等を用いた従来型田んぼダムの実証田を設置し、効果や課題等を検証しています。また、実証モデル地区のうち、大仙美郷地域において、従来型田んぼダムに加え、自動給排水システムを用いたスマート田んぼダムの実証田を設置し、雨水貯留効果を比較・検証するほか、水稻の生育・収量調査等を行い、営農への影響についても確認しています。



（2）田んぼダムの普及・拡大に向けた取組

県では、田んぼダム実証モデル地区の関係者が取組状況や効果・課題等について話し合う意見交換会を開催しています。出席者からは、「田んぼダムによる一時貯留の効果を確認できた」との意見や「貯水により畦畔の一部が崩れた」などの課題が挙げられました。

また、実証状況や取組農家の声などを掲載した「田んぼダム通信」を発行しています。田んぼダムの取組には、農家の合意形成が不可欠であることから、県では引き続き、効果や課題を調査するとともに、河川管理者や市町村、土地改良区等との連携のもと、調査結果や先進事例、支援措置などを紹介し、農家の理解を得ながら、田んぼダムの普及に努めています。



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

洪水時における避難情報の発令や地域住民の的確な避難を促すよう、従来型水位計に加え、危機管理型水位計及び河川監視カメラを設置し、リアルタイムの水位、河川状況画像、雨量情報をインターネットに公表、情報提供を図る。【継続実施】

・データ画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/index.html>

県管理河川振興局別
危機管理型水位計設置数

振興局	河川数	設置基数
鹿角	15	21
北秋田	32	40
山本	13	14
秋田	27	37
由利	15	18
仙北	22	25
平鹿	8	8
雄勝	22	25
重複河川控除	-5	
計	149	188

県管理河川振興局別
簡易型河川監視カメラ設置数

振興局	河川数	設置基数
鹿角	5	6
北秋田	8	8
山本	3	4
秋田	9	9
由利	4	8
仙北	10	14
平鹿	2	4
雄勝	2	3
重複河川控除	-1	
計	42	56

秋田県

河川監視カメラ設置状況
（馬場目川 五城目町馬場目中屋敷地区 中屋敷橋）



馬場目川 中屋敷橋（五城目町）	
日時	07/29 24 : 00
水位	---[m]
警報状態	観測開始水位未滿

秋田県河川砂防情報システムによるリアルタイム情報の提供

秋田県 河川砂防情報システム

表示時刻 自動更新

TOP データ種別 | 雨量 | 水位 | 危機管理型水位 | 河川カメラ | ダム |

表示形式 | 状況図 | 現況表 | 一括表 | 一覧表 | ミニグラフ | 日陰雨量表 |

★メニュー

- 全流域観測情報【状況図】>
- 全流域観測情報【現況表】>
- 気象情報>
- 洪水予報発表情報>
- 水防警報・水位到達情報
- 警報文登録
- 帳票印字>

雨量状況図（秋田地域振興局） 2021年07月12日13時00分 現在

アイコンリンク先設定 ● グラフ ○ 警報履歴 ○ 雨量日集計値表

局名表示

凡例

- 警戒値超過
- 注意値超過

危険管理型水位グラフ

馬踏川 金足堀内（秋田市）

日時	水位	警報状態
07/30 13 : 10	→ -0.29[m]	通常

観測データ (07/10 11:00-07/11 10:00)

月/日	時	雨量	水位	警報
07/10	11:00	0.0	0.0	通常
07/10	12:00	0.0	0.0	通常
07/10	13:00	0.0	0.0	通常
07/10	14:00	0.0	0.0	通常
07/10	15:00	0.0	0.0	通常
07/10	16:00	0.0	0.0	通常
07/10	17:00	0.0	0.0	通常
07/10	18:00	0.0	0.0	通常
07/10	19:00	0.0	0.0	通常
07/10	20:00	0.0	0.0	通常
07/10	21:00	0.0	0.0	通常
07/10	22:00	0.0	0.0	通常
07/11	00:00	0.0	0.0	通常
07/11	01:00	0.0	0.0	通常
07/11	02:00	0.0	0.0	通常
07/11	03:00	0.0	0.0	通常
07/11	04:00	0.0	0.0	通常
07/11	05:00	0.0	0.0	通常
07/11	06:00	0.0	0.0	通常
07/11	07:00	0.0	0.0	通常
07/11	08:00	0.0	0.0	通常
07/11	09:00	0.0	0.0	通常
07/11	10:00	0.0	0.0	通常

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○迅速かつ確実な避難に関する取組【継続実施】（ICT等を活用した洪水情報の提供）

⇒ スマートフォンやタブレットで、リアルタイムの河川画像にダイレクトにアクセス可能

■マップのQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ることでリアルタイムの河川画像などが見れます。

⇒ 県広報紙で全戸配布済

※美の国秋田ネットからも確認、ダウンロードできます。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/48409>

■令和3年4月運用開始
「秋田県河川砂防情報システムHP」をスマートフォン対応へ更新しました。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/sp/>



更新



防災情報 保存版 スマートフォンから簡単アクセス!
地域別 河川監視カメラ ダイレクトマップ

QRコードを読み込むと、その地域の河川に設置されているカメラ画像にアクセスできます。このマップは、河川監視カメラが設置されている地域を掲載しています。※印が付いている河川は、令和3年4月ごろ画像を公開予定

QRコードを読み込んで河川のの様子を見ましょう。いざというときに備えて、画面をブックマークしておくと便利です。(最新の情報を確認する際は、サイトを再度読み込んでください)

ご利用方法 1 QRコードを 2 アクセスしたい河川(箇所名)をタップ 3 カメラ画像へアクセス

大館市 米代川・長木川・下内川・厚川

鹿角・小坂地域 米代川・福士川・熊沢川・大湯川・小坂川

能代・山本地域 藤等川・三穂川・楡山川

秋田市(北部)・南秋地域 馬場目川・馬踏川・新城川・草生津川

秋田市(北部以外) 旭川・猿田川・太平川・岩見川・新渡川

由利本荘・にかほ地域 子吉川・翠川・石沢川・台雪川

湯沢市 役内川・雄物川

仙北市 玉川・樺木内川・入見内川

大仙・美郷地域 丸平川・福部内川・磐塚川・川口川・玉川・青内川・矢島川・大沢川

横手市 横手川・上瀬川

県内を流れる国管理河川(米代川、雄物川、子吉川)の防災に役立つ情報を、県上水道局が提供する「川の防災情報」をご覧ください。

防災情報 保存版 ちは、どうなの!?
水害と土砂災害のリスク

自宅や学校、職場など、あなたの生活圏の危険性を平常時から確認し、避難行動について考えておきましょう。

水害 洪水が想定される範囲を確認できます。河川が氾濫した場合に洪水が想定される範囲や、浸水した場合は水、また河川周辺の決壊や河川の溢水により浸水の範囲の拡大を想定する必要があります。

土砂災害 土砂災害のリスクも忘れなく。土砂災害の発生は、土砂災害警戒区域(土砂災害警戒区域)を指定して、土砂災害危険箇所マップにもマップ上で表示しています。

防災情報 保存版 避難に役立つ 河川・土砂災害情報
豪雨や洪水に、今から備えを

あなたや家族の命を守るために——。普段からの「備え」や「心掛け」が、いざというときに立ちます。

近年、豪雨や洪水が頻発 全国的に大雨による洪水などの自然災害が、毎年のように起きています。秋田県においても平成29年7月や令和3年5月に発生した豪雨による河川の氾濫や浸水により、大きな被害がありました。

自らの判断で避難行動を こうした水害から身を守るためには、一人ひとりが「自らの命は自ら守る」という意識を持ち、早めの避難行動をとることが大切です。今回、特別編1～4ページに水害や土砂災害の避難に役立つ情報をまとめたので、活用としてご利用ください。

お近くの河川がどのような状態か、パソコンやスマートフォンなどで確認できます

ここでは、水位計による河川情報、河川の様子、洪水状況をリアルタイムで確認し、河川監視カメラの画像をマップ上で提供しています。河川に近づきすぎると、パソコンやスマートフォンからアクセスできなくなる場合があります。ぜひ避難行動の目安にお役立てください。

こんな情報も配信しています!

河川の現在の様子が画像で分かる
河川監視カメラは、14日17時以降に設置されています。(16日18時以降)

河川の水位がグラフで分かる
河川の水位がグラフで分かる

河川の水位がグラフで分かる
河川の水位がグラフで分かる

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

■要配慮者利用施設の管理者への説明会の実施【継続実施】

・要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施

⇒ 講習会プロジェクトの取組 ※市町村地域防災計画にその名称及び所在地が定められた施設が対象

洪水・土砂災害からの「逃げ遅れゼロ」を目指し、平成30年から講習会プロジェクトを継続して実施

■各市町村の取り組み事例



■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

気象台・県・市町村

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）

○秋田地方気象台と連携した気象防災ワークショップの開催（県総合防災課）

○ 洪水災害や土砂災害が発生するおそれのある状況下で、気象台が発表する様々な情報を活用し、地方公共団体での防災対応を疑似体験していただきました。各種の防災気象情報を理解し有効活用するとともに、体制の強化や避難指示発令のタイミングを検討することで判断のポイントを学びます。

今後も県内市町村の防災担当者に広く参加していただき、防災対応力の向上を目指します。

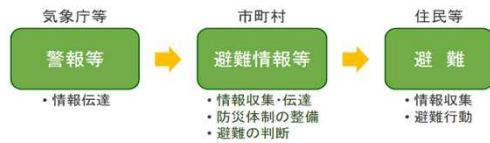
○ 地方公共団体等の防災対策協力・支援として引き続き気象防災ワークショップ実施し、現場担当者の防災対応力の向上を目指します。

気象防災ワークショップ（土砂災害）



地域防災力を高めるために

市町村職員として、気象庁などから提供される気象情報等を適切に使い、的確なタイミングで市の体制強化や避難の判断・伝達を実施することで、住民の命を災害から守る

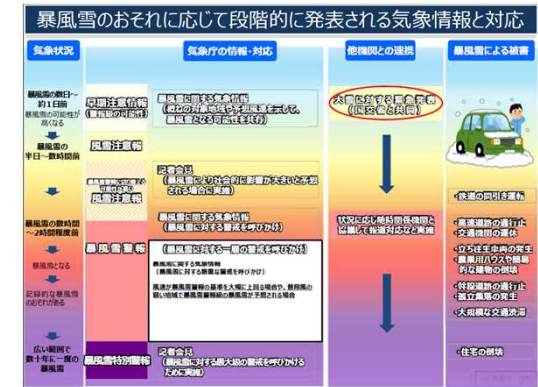


本ワークでの経験や気づきを今後の業務に活かしましょう！

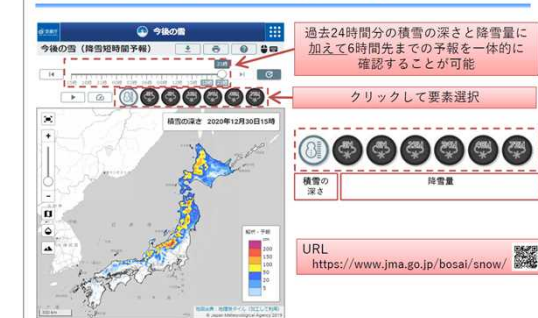


Web会議システムによるワークショップを開催

大雪・暴風雪のメカニズムと防災気象情報の利活用



気象庁ホームページ「今後の雪」



■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

県・市町村

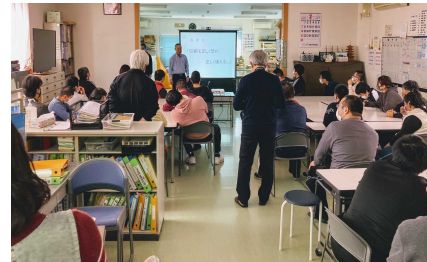
■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）

○秋田県防災アドバイザー派遣事業による防災力・知識の向上（県総合防災課）

地域全体の防災意識向上や地域の実情に応じた自主防災組織の結成促進、活動活性化を支援することを目的に、日本防災士会秋田県支部と連携し防災士を「防災アドバイザー」として派遣し、きめ細かなアドバイスを行うことで、地域防災力の向上を図っています。

【防災アドバイザーの業務】

- 自主防災組織の運営・活動支援
- 避難誘導・救助訓練、要援護者への対応要領を通じたの災害対応力の向上
- D I G（災害図上訓練）、H U G（避難所運営ゲーム）を通じて防災知識の普及・啓発を図る



防災士による講演状況



防災備蓄食料品の活用

○自主防災組織育成指導者研修会（県総合防災課・市町村）

災害発生時の自主防災体制の確立を目的に、自主防災組織のリーダーや自治会長、市町村防災担当職員を対象とした防災教育を実施しています。



秋田大学地域防災減災総合研究センター水田教授による講演



秋田地方気象台によるワークショップ



■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組【継続実施】

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒実践的な防災訓練を実施し、災害に対する避難体制の強化と防災意識の向上を図る。

■各市町村の取組事例



秋田市 総合防災訓練状況



潟上市 総合防災訓練



三種町 総合防災訓練状況



五城目町 総合防災訓練状況



井川町 総合防災訓練状況



男鹿市総合防災訓練（五里合地区）

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組【継続実施】

- ・重要水防箇所の合同巡視 ⇨ 重要水防箇所や水防資機材の共同確認

洪水時に危険が予想され、重点的な巡視点検が必要な箇所を関係機関と実施。



■ソフト対策【ねばる】

② 氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

秋田県・市町村

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組【継続実施】

- ・水防資機材の保有状況の確認 ⇨ 水防資機材の共同確認

事前に水防資機材の点検・準備を整え、直ちに水防活動を実施できる体制を確保。



■ソフト対策【戻す】 ③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組【継続実施】

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒ 梅雨前線による集中豪雨や秋の台風シーズンを控え、排水ポンプ車の操作や機材の設置に習熟するための訓練を実施。



県北配備【排水ポンプ車】

